

～さわやかな

笑顔

みどり学年～



明石市立二見中学校

71 回生

第 3 学年 学年通信

平成 30(2018)年 7 月 19 日 (木)

NO. 136

第 8 回道徳「自由の意味」

私たちが社会生活を営んでいくうえでもっとも配慮しなければならないのは、公平で公正な言動であり、そのことによって偏見や差別のない社会が実現する。だが、実際には、人間の本能的な優越志向が、自己を風下におくことを許さず、公平さを欠いた言動に及ぶ場合が多々ある。

自由を考えるには、自由の手前にあるものと、その先にあるものを、私たち一人ひとりがよく承知していなければならないということだろう。「～する自由」があれば「～しない自由」がある。しかし、それらは何を根拠に「自由」なのか。そのことを考えていけば、究極的には人間の尊重という普遍的な価値に行き当たる。自由の手前に、人を思う当たり前の心がなければならないことを知りたい。



【生徒の感想より】

○僕はこの話を聞いて思ったことは、自由のことについて理解することができました。特に自分が思ったり考えたりすることと、相手は違うと思うので、視野を広く、いろんな方向から物事を考えることが大切だなと思いました。これからはそのことも気をつけていきたいと思います。



○私は、意見をしても人に合わせて、全く違う意見になってしまうことがあります。でもそれは、自分の意見を大切にできていないと、この授業を受けてそう思いました。作者の方は、自分の意見を堂々と述べているのを感じて、すごく自分の意見を大切に、尊重できているなと思いました。私も、こんな作者の方みたいになりたいなと思いました。

○「何物にもとらわれない」それが僕の自由だと思ってましたが、自由の意味を見ると、人によって、自由が違うということが分かった。考え方や価値観は、人それぞれ。自由は、人を不快にさせていたら、それは自由ではないと思った。

○自分がしたいことをするのはいいと思う。でも、自己中心的ではなく、相手の気持ちを考えて行動することが自由だと思う。



○「自由とは何か」という質問に正解はあるのだろうか。答えはあるのだろうか。この作品を読んでそう思いました。私にとって自由とは、周りに流されることなく、自分が決めた道へ進むことだと思います。でも、他の人にとって自由とは、また全く違う発想なのかもしれません。だから、正解、不正解はないし、答えなんてずっと見つからないものだと思います。だから、自分の中で作ることができたらよいと思います。もちろん、憲法に違反しているものや、もうすでに決められているルールを変えて作るのではなく、自分が思う、自分だけが実行できる新しいルール、自由をつくったらよいと思います。なかなか見つからないこともあると思うけど、絶対に見つけることができると思います。



○権利があるからと言って、他人のいやがることをする者が近くにもいるので、その者の考え方を説得して変えていけたらと思う。自由だ権利だの前に、我々人間は生物であり、その中でも高い知能を持っている。すべての言動は自らに降りそそぐ。する前に考えをしっかりと持ち、それが正しいことというのを考え直すことが一番大切だと思う。すべてに答えがあるわけではない。自分の正しいと思うことをつらぬくことが強さだと思う。

夏休み中の予定について

①質問日

7 月 25 日 (水) から 27 日 (金) までの 3 日間を 3 年生の質問日とします。午前 9 時から午前 11 時まで教室を開放します。どの教室を開放するかは、その日に学年のホワイトボードで確認してください。勉強中に分からないところがあれば、待機している先生へ質問して下さい。



②登校日

8 月 24 日 (金) は全校登校日になっています。8 時 10 分までに登校し、15 分に着席できるようにしてください。提出物の回収などを行います。

③オープンハイスクール

各学校のオープンハイスクールを申し込んだ人は、忘れることなく参加してください。勝手な理由で欠席等はできません。何かある場合は事前に中学校へ連絡をしてください。

④お盆休み

夏休みも平日は、学校を開けていますが、8 月 13 日 (月) から 15 日 (水) は閉鎖されています。注意して下さい。